

米子水鳥公園

レンジャー通信

水鳥公園の指導員(レンジャー)によるさまざまな活動をご紹介します。

☎ 米子水鳥公園 (☎24-6139、FAX24-6140)



初雁に変化あり

初雁とは、秋に北方から初めて渡ってきたガンのことをいい、俳句で秋の季語として知られています。日本に渡ってくるガンの仲間のうち、最も多く渡ってくるのがマガンで、ヒシクイがそれに次ぎ、それ以外のガンは珍しいです。米子水鳥公園には毎年9月末〜10月初めにガンが渡ってくるので、初雁を確認したら、季節の話題として報道発表しています。

ところが近年、この初雁に変化が見られます。渡ってくる鳥の順番は毎年ほぼ決まっていますが、これまでの初雁は



初飛来が年々遅くなっているマガン

マガンでした。ところが、2015年はマガンがヒシクイ3羽と同時に飛来し、2019年は初めてヒシクイが先に飛来、翌年もヒシクイが先でした。また、マガンの飛来数が減少する一方で、これまで少なかったヒシクイの数が増加しています。さらには従来、初雁よりも1〜2週間遅れて初飛来していたコハクチョウが、マガンよりも先に到着する事例が増えています。



近年増加傾向のヒシクイ

これらの変化には必ず理由があると思いますが、それが何なのか、今は分かりません。それを解明するために、今後マガンやコハクチョウの飛来状況に注目していきます。

米子水鳥公園統括指導員 桐原 佳介

美術館通信

第65回

鳥取県美術展覧会(県展)

会期 10月9日(土)～18日(月)

【会期中無休・観覧無料】

▶ギャラリートーク

10月9日(土)【申込不要】

午前10時30分～午後0時30分

※各展示室・全部門を巡り解説します。

「鳥取県美術展覧会(県展)」は、県民の皆さんから美術作品を募り、優れた作品を展示する公募展です。美術、文化の振興に寄与することを目的に毎年開催し、県内4つの博物館・美術館を巡回します。

米子市美術館では、全8部門(洋画・日本画・書道・工芸・彫刻・版画・写真・デザイン)の受賞作品と入選作品を展示します。一部を除き写真撮影もできますので、ぜひ今年も個性豊かな作品の数々をご覧ください。

☎米子市美術館 (☎34-2424、FAX33-0679)



昨年の県展会場風景(上・下)